

# 第1回 大阪大学外国語学部・外国学専攻シンポジウム

=大阪大学大学院人文学研究科附属複言語・複文化共存社会研究センター設立記念=



どなたでも  
ご参加  
いただけます

参加費無料

## 山極 寿一

総合地球環境学研究所長  
京都府国際センター理事長

### 基調講演 1

「言葉を超える  
相互理解をするために」



## ウスビ・サコ

京都精華大学  
全学研究機構長  
全学研究機構アフリカ・アジア  
現代文化研究センター長

### 基調講演 2

「多文化共生のために  
言葉が果たす役割」

外国語を学ぶ者へのメッセージ、外国語を学ぶ者からのメッセージ

# 言葉を究めて世界へはばたく

日時：2023年10月21日(土)  
13:00～16:25 (開場 12:00)

場所：箕面市文化芸能劇場大ホール

〒562-0035 大阪府箕面市船場東3-10-1 TEL: 072-726-3000

同日開催！ オクトーバーフェスト in 阪大船場  
▶ シンポジウム終了後～19:30



■主催・企画：大阪大学外国語学部、大阪大学大学院人文学研究科外国学専攻

■共催：大阪大学言語社会学会

■協力：大阪大学大学院人文学研究科、大阪大学日本語日本文化教育センター、大阪大学21世紀懐徳堂

■後援：箕面市、箕面市教育委員会、吹田市教育委員会、豊中市教育委員会、池田市教育委員会、(公財)箕面市国際交流協会

# プログラム

《総合司会》 大阪大学大学院人文学研究科外国学専攻長 山根 聡

13:00 開会

●開会挨拶：大阪大学総長 西尾 章治郎

●主旨説明：大阪大学外国語学部長 竹村 景子

【第1部】13:10～14:40

基調講演

「言葉を越える  
相互理解をするために」

総合地球環境学研究所長 山極 壽一  
京都府国際センター理事長



人間は言葉だけで他の人間や動物たちと会話しているわけではありません。相手の気持ちを理解し、自分の気持ちを伝えるためには、時間をかけて身体と心を共鳴させる必要があります。長年ゴリラと付き合い合った経験から、人間が言葉を越えて信頼しあうための方策について考えてみたいと思います。

「多文化共生のために  
言葉が果たす役割」

京都精華大学  
全学研究機構長 ウスビ・サコ  
全学研究機構アフリカ・アジア  
現代文化研究センター長



文化の数だけ言葉がそれ以上にあります。多様な人々が共生する社会の実現には、その複数の文化的伝統や言葉が受け入れられる環境づくりが必要です。お互いの言葉を理解することは、それぞれの文化を認識することでもあり、相手を受け入れる第一歩でもあります。

◆西アフリカ音楽演奏：YéréYa Africandance Company

演奏披露



【第2部】15:00～16:20

パネルディスカッション

「複言語・複文化共存社会研究センターの設立に寄せて  
～多様性を活かす社会創造のために私たちができること～」



複言語・複文化共存社会研究センター（通称：阪大ふくふくセンター）の設立背景・理念等を説明し、設立以前から現在までの卒業生・在学生の取り組みを紹介します。基調講演者の山極さん、サコさんがコメンテーターとして参加されます。

●閉会挨拶：大阪大学理事・副学長 田中 学

16:25 閉会

【情報交換会】シンポジウム終了後～19:30

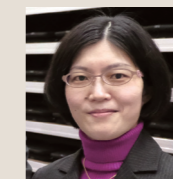
オクトーバーフェスト in 阪大船場



## パネルディスカッション登壇者



●「複言語・複文化共存社会研究センター  
教員による活動報告」

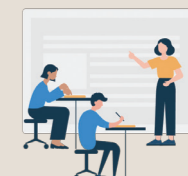


大阪大学大学院  
人文学研究科  
外国学専攻講師  
矢元 貴美



大阪大学大学院  
人文学研究科  
外国学専攻講師  
近藤 美佳

●「卒業生・在学生による活動報告」



島根県浜田市立浜田東中学校  
教諭  
天津 貴志

島根県出身。大阪外国語大学地域文化学科および同大学大学院言語社会研究科にてフィリピンについて学ぶ。大学在学中の2000年、NGOの研修生として半年間フィリピンに滞在、大学院時代の2003年から2年間、青年海外協力隊として西アフリカのブルキナファソで活動。2007年より島根県内の中学校に勤務している。



大阪大学大学院人文学研究科  
日本学専攻  
松崎 かおり

日本とブラジルにルーツをもち日本で育つ。学部ではフランス語・フランス文化を専攻、大学院では年少者日本語教育、バイリンガル教育を学ぶ。現在は大阪府外国人児童生徒支援員として日本の学校に在籍する外国にルーツをもつ子どもの支援を実施。他に、日本語・ポルトガル語のバイリンガル塾（オンライン）の講師、家庭教師など様々な形で外国にルーツをもつ子どもたちの学習支援に携わっている。



大阪大学外国語学部外国語学科  
ベトナム語専攻  
仁部屋 みらい

学部3年次にベトナムにルーツを持つ子どもたちへの支援活動始める。阪大ふくふくセンターのメディエーターとして、大阪府内の複数の市の公立小学校で、ベトナムルーツの子どもの学習支援や保護者のための通訳などの支援活動を行っている。

大阪大学箕面キャンパスは、2021年4月に船場地区に移転後、OUGC(大阪大学グローバルキャンパス)として、外国語・外国学研究等の成果を介して地域の市民と世界を結ぶという使命を担っています。

新型コロナウイルスの感染拡大により、これまでは大々的なシンポジウムを開催できませんでしたが、社会状況が変わりつつある2023年に、市民の方々に学びを提供する機会を設けられれば、という思いから、大阪大学外国語学部・外国学専攻シンポジウムを開催する運びとなりました。

1回目となる今回は、複言語・複文化共存社会研究センターの設立記念も兼ねて、第1部に基調講演、第2部にセンターの活動紹介を含むパネルディスカッションを行います。

【参加方法】下の URL 又は QR コードからお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/iE9vFk9TsX>

参加申込フォーム



【締切】2023年10月13日(金)

【参加費】無料

※シンポジウム参加者はオクトーバーフェスト in 阪大船場への新たな申し込みは不要です。シンポジウム終了後、そのまま参加いただけます。

【お問い合わせ先】

大阪大学人文学研究科箕面事務部事業推進係

TEL:072-730-5013 又は 5015 (平日 10:00～17:00)

E-MAIL: jinbun-minoh-jigyo@office.osaka-u.ac.jp

※箕面キャンパスには、駐車場・駐輪場がございません。お手数をおかけしますが、お車や自転車でお越しの場合は、周辺の駐車場・駐輪場をご利用ください。



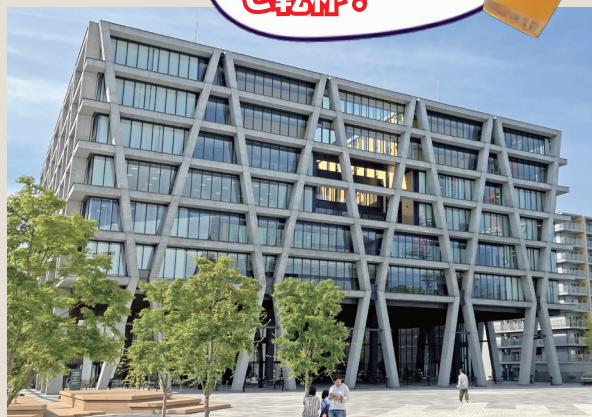
# オクトーバーフェスト in 阪大船場

**日時** 2023年10月21日(土)  
シンポジウム終了後～19:30  
(開場16:00)

**場所** 大阪大学箕面キャンパス3階  
ピロティ、阪大広場

〒562-8678 大阪府箕面市船場東3-5-10

**定員** 1,000人



クラフトビール  
で乾杯!



## 出展ブース (9月1日現在)

### ドリンク

箕面ビール 1杯 650円～  
チケット制(当日販売のみ)  
ソフトドリンクあります。

**MINOH  
BEER**

### フード (現金制)

DONUTS DEPT (ドーナツ)  
ADO (タコス)  
みつか坊主 (唐揚げ)  
COVOJEAN (そば)  
蜜香屋 (焼き芋・中崎ポテト)  
がやがや (親鳥・ひな鳥の焼鳥)  
キッチン花子 (燻製、惣菜)  
BEER BELLY  
WAREHOUSE  
北摂ワインズ (ナチュラルワイン)  
MAFGA コム・カフェ 他

## お申し込み方法

### シンポジウム参加者

新たな申し込みは不要です。  
シンポジウム終了後、その  
ままご参加いただけます!



### 一般参加者

右のQRコードから  
お申し込みください。

お申し込み用QRコード



人数制限がございますので  
お早めにお申し込みください。

### 【お問い合わせ先】

大阪大学人文学研究科  
箕面事務部事業推進係  
TEL: 072-730-5013  
又は 5015  
(平日10:00～17:00)  
E-MAIL: jinbun-minoh-jigyo  
@office.osaka-u.ac.jp



■主催・企画：大阪大学外国語学部、大阪大学大学院人文学研究科外国学専攻  
■協力：株式会社 箕面ビール、大阪大学大学院人文学研究科、大阪大学 21 世紀懐徳堂